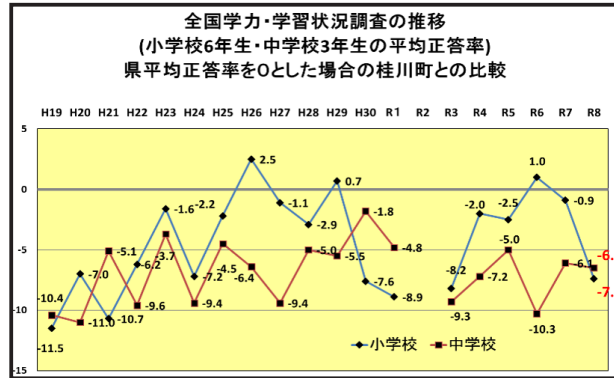


「全国学力・学習状況調査」 における児童・生徒の状況

学校教育課 教務係

4月に実施された小学校6年生と中学校3年生の令和8年度「全国学力・学習状況調査」の結果の概略を報告します。



本年度は、小学校で、(国語・算数)の2教科、中学校で、(国語・数学・外国語)の3教科で実施されました。

小学校は、県平均を2年連続で下回るという結果となりました。

また、中学校は、県平均に届きませんでした。昨年度とほぼ横ばいという結果でした。外国語においては、IRT指標においても全国平均を下回りました。

しかしながら、児童生徒質問紙の調査においては、小学校で、「学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」という点で全国平均を上回り、今の自分を向上させようという意欲がうかがえます。

中学校でも「ICT機器を活用した授業をほぼ毎日の授業で活用している」という点で全国平均を上回り、今の子どもたちに求められる力の育成が進んでいる点がかがえます。

また、課題としては、昨年に引き続き「家庭での学習習慣の定着」において、今年の小学校6年生・中学校3年生の家庭学習の時間が1時間未満の児童生徒の割合が増加しております。このことが、児童生徒の学力定着に影響しているものと分析しております。

桂川町教育委員会といたしましては、このような結果を勘案し、福岡県教育委員会と連携しながら、学力の向上に努めてまいります。

さらには、家庭や地域の方々との連携を強化し、子どもたちの「やる気」「頑張る力」を伸ばす「ふくおか鍛ほめメソッド」を取り入れながら各学校とともに児童生徒の非認知能力を高めてまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い致します。

子どもたちに育みたい力

「園行事を通して」

桂川幼稚園 園長 城石 俊弘

暑い夏を経て、ひとまわり大きくなった子どもたちは、元気いっぱい運動会の練習に取り組んでいます。2学期は、運動会や生活発表会、秋の遠足等の大きな園行事があり、日常の教育活動に加え、このような園行事は子どもたちを伸ばす大きな機会だと捉えています。

国が定める幼稚園教育要領では、次の「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を掲げ、教師が指導を行う際に考慮することとしています。そこで、本園でもこの10の姿をふまえて指導計画を作成しています。



- ① 健康な心と体
- ② 自立心
- ③ 協同性
- ④ 道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤ 社会生活との関わり
- ⑥ 思考力の芽生え
- ⑦ 自然との関わり・生命尊重
- ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨ 言葉による伝え合い
- ⑩ 豊かな感性と表現

その中でも、現在練習に取り組んでいる運動会では、**主に次の4つの内容を重視して指導を重ねています。**

【① 健康な心と体】

充実感や満足感を持つて心と体を十分に働かせながら取り組み、見通しを持って自ら健康で安全な生活をつくり出していく。

【② 自立心】

自分でしなければならないことを自覚して、あきらめずにやり遂げることで、満足感や達成感を持つて行動する。

【③ 協同性】

友だちと共に工夫したり協力したりする充実感を味わいながらやり遂げる。

【④ 道徳性・規範意識の芽生え】

やって良いことや悪いこと、きまりを守る必要性がわかる。それぞれのクラスの発達段階や個々の園児の実態に応じて育てたい力を明確にし、指導の充実を図っています。

厳しい残暑が続いていますが、熱中症の予防にも十分気を配りながら、一人ひとりの子どもの可能性を引き出し、力を発揮できる園行事をめざして全職員はりきっています。